

# 夏の指標種一覧

アプリでいきもの調査の対象となる夏の指標種は以下の種類です。

次のページ以降の、指標種の写真と特徴を参考に探してみましょう。太字は身の周りで見られる身近な種になります。

| 分類   | 指標種               | 見られる場所        | 難易度  |
|------|-------------------|---------------|------|
| 植物   | ヤマユリ              | 二次林、林縁        | ☆☆   |
|      | ススキ               | 草地、空き地        | ☆    |
|      | ナガエツルノゲイトウ        | 河川、水路、湖沼、水田   | ☆☆   |
|      | オオキンケイギク          | 河川敷、空き地、路傍    | ☆    |
| 哺乳類  | アライグマ             | 森、畑、川、市街地     | ☆☆☆  |
| 鳥類   | コサギ               | 川、水田          | ☆☆   |
|      | サシバ               | 里山、丘陵、水田      | ☆☆☆☆ |
|      | カワセミ              | 川、公園の池        | ☆☆☆  |
|      | コゲラ               | 森、樹上          | ☆☆☆  |
|      | モズ                | 草地、河川敷        | ☆☆☆  |
|      | シジュウカラ            | 森、公園、市街地の林    | ☆☆   |
|      | ヒバリ               | 草地、河原、空き地、耕作地 | ☆☆   |
|      | ツバメ               | 市街地、耕作地       | ☆☆   |
| 爬虫類  | アカミミガメ            | 河川、湖沼、ため池     | ☆☆   |
|      | ヒガシニホントカゲ         | 民家、路傍、草地、石垣の上 | ☆☆   |
|      | ニホンカナヘビ           | 草地、林縁、民家      | ☆☆   |
| 両生類  | ニホンアカガエル          | 水田、湿地、林縁、草地   | ☆☆   |
|      | トウキョウダルマガエル       | 水田、湿地         | ☆☆☆  |
| 昆虫類  | オニヤンマ             | 水田、湿地、林縁、草地   | ☆☆   |
|      | チョウトンボ            | 水田、湿地、林縁、草地   | ☆☆☆  |
|      | クマゼミ              | 森、公園、市街地の林    | ☆☆   |
|      | セミ類の抜け殻           | 森、公園、市街地の林    | ☆    |
|      | ツマグロヒョウモン         | 草地、市街地、公園     | ☆☆   |
|      | アカボシゴマダラ          | 市街地、林縁        | ☆☆   |
|      | ナガサキアゲハ           | 林縁、果樹園、公園     | ☆☆☆  |
|      | ノコギリクワガタ          | 二次林、森         | ☆☆   |
|      | ヤマトタマムシ           | 二次林、森         | ☆☆   |
| 底生動物 | タニシ類(マルタニシ・ヒメタニシ) | 水田、水路         | ☆☆☆  |

しひょうしゆ み かた とくちよう  
**指標種の見つけ方・特徴**

**ヤマユリ**



- ◆ 山野に自生するユリ科の多年草。
- ◆ 高さ1～1.5m程度。
- ◆ 花はにおいが強く、大輪。花びらは白色でぞり返り、赤い斑点と黄色の線がある。花期は7、8月。
- ◆ 観賞用としても栽培されている。

**ススキ**



- ◆ 山野や空き地、路傍の日光当たりの良い場所で見られるイネ科の大型の多年草。
- ◆ 高さ1～2m。茎は株立ちし、大きな株となる。
- ◆ 花は穂状で長さ10～30cm程度、穂の毛は白、時に紫色になる。種子の先端に長い突起がある。秋には穂が金色に輝く。
- ◆ よく似たオギには種子の先端に長い突起がない。また、オギは水辺や湿地に自生することで識別できる。

**ナガエツルノゲイトウ**



- ◆ 河川、水路、池などに群生するヒユ科の多年草。
- ◆ 南アメリカ原産。特定外来生物に指定されている。
- ◆ 高さは10cm～数10cm。
- ◆ 繁殖力が旺盛で、マット状の大群落となる。千切れると千切れた断面から再生するため、駆除が困難。
- ◆ シロツメクサのような白い球状の花をつける。

しひょうしゅ み かた とくちよう  
**指標種の見つけ方・特徴**

**オオキンケイギク**



- ◆ 河川や空き地、路傍などに見られるキク科の多年草。北アメリカ原産。
- ◆ 日本在来の植物と競合し、生息場所を奪ってしまうため特定外来生物に指定されている。
- ◆ 高さは30cm～70cm程度。
- ◆ 鮮やかな黄色い花をつける。開花時期は5月～7月でしばしば群生する。葉はコスモスなどとは異なり、切れ込みのないハラ状。

**アライグマ**



- ◆ 雑食の中型ほ乳類。
- ◆ 特定外来生物に指定されている。
- ◆ 夜行性で、森林、湿地、農耕地、市街地に生息している。
- ◆ 灰褐色の体毛と、目の周囲の黒い模様が特徴。長いしっぽに黒い輪模様がある。
- ◆ アライグマは足跡が特徴的。他種と見分けが付きやすい。
- ◆ タヌキやイヌの足跡と違って、アライグマの足跡はヒトの手形のように5本の指と手のひらがくっついた形状。
- ◆ 足跡は水路沿いの砂地、畑の土などに残りやすい。

**コサギ**



- ◆ サギの仲間の鳥類。サギ類の中では小型で全長は約60cm。
- ◆ 昼行性であり、水田、河川、湖沼、湿地、干潟に生息し、魚類や両生類を採食する。
- ◆ 体が純白であるのに対して、くちばしが黒色、足先が黄色であるのが特徴。

しひょうしゅ み かた とくちよう  
**指標種の見つけ方・特徴**

**サシバ**



- ◆ **里山や丘陵に生息する猛禽類。渡りを行う。日本では3～10月に見られる。**
- ◆ **大きさはカラスと同じくらいで、全長約50cm。全体的に茶色いが、腹に横縞がある。**
- ◆ **水田の周りの樹木や電柱の上から地上を見張り、獲物を見つけると飛び降りて捕まえる。カエルなどの両生類やトカゲ・ヘビなどの爬虫類を餌とする。**
- ◆ **「ピクイー」と高い声で鳴く。**

**カワセミ**



- ◆ **水辺に生息する鳥類。全長は約17cm でスズメよりやや大きめ。**
- ◆ **大きくなくちばしと、青色と橙色の体色が特徴の人気鳥。**
- ◆ **春から夏にかけて繁殖期となり、活動が活発になる。**
- ◆ **魚や水生昆虫を餌とする。川辺の木の枝などに止まって獲物を探す姿が見られる。**

**コゲラ**



- ◆ **キツツキの仲間の鳥類。全長は約15cm。**
- ◆ **昼行性で、樹木の多い公園にも生息している。細い幹や、小枝を好む。**
- ◆ **「ギー」という低い声を出す。**
- ◆ **シジュウカラ類と群れになって後方からついていく。**
- ◆ **硬い羽軸のある尾羽を幹にピッタリつけて、両足と尾羽の3点で体を支えている。尾羽を木の幹につけているのが特徴。**

# 指標種の見つけ方・特徴

## モズ



- ◆ スズメより一回り大きい鳥類。全長は約20cm で太めの体型と細長い尾が特徴。
- ◆ 疎林、林縁、木のある草地、農耕地、公園、畑地に生息している。尾を上下に振り、獲物を待っている。
- ◆ 「キー」という高鳴きをする。
- ◆ 枝や有刺鉄線で、はやくにえを見ることができる。
- ◆ 夏には数を減らし、多くの個体が山地や北部に移動する。

## シジュウカラ



- ◆ 日本で最もよく見られる野鳥の一種。全長は約15cm。
- ◆ 市街地の公園から森林まで広範囲に生息している。6匹以下の小さな群れをつくる。
- ◆ 昆虫類やクモ類、木の実を餌とし、地上で採食する。
- ◆ 胸から腹にかけてあるネクタイのような太い黒い線が特徴。

## ヒバリ



- ◆ スズメよりやや大きい鳥類。全長約17cm。
- ◆ 茶色、白、黒のまだら模様で、頭に小さいトサカのような「冠羽」がある。
- ◆ 2月ごろから草丈の低い草原や河原の上空で飛びながら長時間さえずり、縄張りを主張する。
- ◆ 昆虫類や草の種子を餌とする。

# 指標種の見つけ方・特徴

## ツバメ



- ◆ 渡りを行う鳥類。3～4月ごろに日本に飛来する。全長約17cm。
- ◆ 上面が黒青色、下面が白色で切れ込みのある尾が特徴的。俊敏に飛翔する。
- ◆ 軒下などに巣を作ることによく知られる。雛は巣で親が餌を運んでくるのを待つ。
- ◆ 昆虫類を餌とし、空中で捕食する。

## アカミミガメ



- ◆ アメリカ原産の雑食のカメ。別名ミドリガメ。
- ◆ 全長は20～30cmほどになる。
- ◆ 側頭部の赤色の筋模様が特徴。幼体は全身が鮮やかな緑褐色で、成長とともに鮮やかさは失われる。
- ◆ 河川や湖沼、ため池などに生息する。  
日本では野生化したものが定着し、在来カメの生息を圧迫している。
- ◆ 野外への放出、販売・購入が禁止されている条件付特定外来生物である。

## ヒガシニホントカゲ



- ◆ よく見られるトカゲ。全長約20～25cm。
- ◆ 幼体は黒い体に黄色い筋が入り、尾はコバルトブルーだが成長とともに尾の色は失われる。
- ◆ 民家の庭、畑、道路わきの斜面などに生息する。
- ◆ ミミズ、コオロギなどの昆虫類を餌とする。
- ◆ 体を温めるためにしばしば石垣やコンクリートの上で日光浴をしている様子が見られる。
- ◆ 危険を感じると尾を自切り、おとりにする。
- ◆ 西日本に生息するニホントカゲとは別種であることが分かった。

しひょうしゅ み かた とくちよう  
**指標種の見つけ方・特徴**

**ニホンカナヘビ**



- ◆ 日本固有のトカゲの仲間。全長約20cm。
- ◆ 背面は光沢のない茶色でかさついたうろこにおおわれている。目の下から体に沿って白い線が走る。尾が長く、体の半分以上になる。
- ◆ 落ち葉や草むらの間に生息する。
- ◆ 昆虫やクモ類を餌とする。

**ニホンアカガエル**



- ◆ 平地や丘陵地の水田や湿地に生息する中型のカエル。平地で普通に見られる。
- ◆ 全長は 35～67mm。体の色は黒褐色から赤褐色。目から後ろに明瞭な線がのびる。
- ◆ ヤマアカガエルによく似るが、ニホンアカガエルは背中の線がまっすぐなことで識別できる。
- ◆ カエルの仲間では一番産卵が早く、1～5月に水田などに産卵する。
- ◆ 「キョキョキョキョキョ…」と鳴く。

**トウキョウダルマガエル**



- ◆ 関東地方の湿地や水田の周辺に生息する中型のカエル。
- ◆ 全長は約40～87mm。
- ◆ トノサマガエルに似るが、四肢がやや短いこと、背中の黒色の模様が独立していることが特徴。
- ◆ 繁殖期は4～7月で、水田や沼、河川の止水に卵を産む。
- ◆ 「ウゲゲ、ウゲゲ…」と鳴く。

しひょうしゆ み かた とくちょう  
**指標種の見つけ方・特徴**

**オニヤンマ**



- ◆ トンボ目オニヤンマ科の日本最大のトンボ。
- ◆ 体長は 80～100mm。
- ◆ 体色は黒地に黄色の模様、複眼が緑色。
- ◆ 成虫は平地から山地の樹林のある水辺などに生息し、水のきれいな水路の砂泥の中に産卵する。幼虫は砂泥の中で3～4年かけて成長する。成虫が見られる時期は6～9月。
- ◆ 成虫は昆虫類やクモ類を餌とする。幼虫はユスリカやイトミミズやオタマジャクシなどの水中生物を餌とする。

**チョウトンボ**



- ◆ 翅が特徴的なトンボ目トンボ科の中型～小型のトンボ。
- ◆ 体長は 30～40mm程度。
- ◆ 翅は金属光沢を帯びた黒藍色で、先端は透明。
- ◆ 成虫は平地から丘陵地の、抽水植物の繁茂した池沼や都市部の公園の池などに生息し、産卵する。幼虫は1年かけて成長し、越冬する。成虫が見られる時期は6～9月。
- ◆ チョウのようなひらひらとした飛び方をする。

**クマゼミ**



- ◆ 大型のゼミ。黒い体に透明な翅をもつ。
- ◆ 体長は 60～70mm。
- ◆ 低地から丘陵地、市街地の公園などに生息する。元来の分布は西日本であったが温暖化に伴い分布が北上し、現在は関東地方南部まで分布している。
- ◆ 成虫は枯れ木や公園の杭などに産卵する。成虫が見られる時期は7月～9月。
- ◆ 早朝から午前中に「シャシャシャシャ・・・」と鳴く。

# 指標種の見つけ方・特徴

## ツマグロヒョウモン



- ◆ 中型のチョウ類。
- ◆ オスの表はヒョウ柄の模様で、メスは外側に青色光沢の模様がある。
- ◆ 平地から丘陵地の明るい草地に生息する。スマレ科の植物を食草とするため、パンジーの植栽の多い都市部でよく見られる。
- ◆ 日中、低い場所を緩やかに飛翔し、花を訪れる。

## アカボシゴマダラ



- ◆ 中型のチョウ類。関東地方で見られる個体は、中国大陸原産の外来種である。
- ◆ 特定外来生物に指定されている。
- ◆ 表は白色の地色に黒色の脈が入り、後翅の外側に赤の模様が入る。
- ◆ ゴマダラチョウに似るが、本種には赤の模様があることで識別できる。街路樹や公園樹木として使用されるニレ科のエノキなどを主食とするため、市街地でも見られる。河川沿いにも多い。

## ナガサキアゲハ



- ◆ 大型のアゲハ蝶。
- ◆ 東アジアや東南アジアに分布し、1920年ごろまでは九州や四国南部にしか分布していなかったが、温暖化の影響で分布が拡大し現在は関東地方でも普通に見られるようになった。
- ◆ ミカン類の葉を主食とするため、ミカン畑の周りに多い。
- ◆ よく似たクロアゲハとの識別点は、ナガサキアゲハは翅の付け根が赤くなること、後翅の先の尾状突起がないこと。

# 指標種の見つけ方・特徴

## ノコギリクワガタ



オス(♂)

- ◆ 樹林に生息する代表的なクワガタ。
- ◆ 体長はオス 26～74mm、メス 25～40mm。
- ◆ オスは大きく湾曲したアゴを持ち、個体により変異が大きい。
- ◆ 平地から丘陵地の雑木林などに生息する。
- ◆ 成虫はクヌギ、コナラなどの広葉樹の樹液を餌とし、幼虫は朽木の中で成長する。
- ◆ 成虫が見られる時期は 6月から 10月。

## ヤマトタマムシ



- ◆ コウチュウ目タマムシ科の昆虫。美しい体色を持つ。
- ◆ 体長は 30～40mm。
- ◆ 平地から丘陵地のエノキやケヤキのある樹林に生息する。日中は樹上を飛翔していることが多い。
- ◆ 成虫はエノキやケヤキの葉を餌とし、エノキやケヤキ、サクラの枯死木に産卵する。
- ◆ 成虫が見られる時期は 7月～8月。
- ◆ 緑色の金属光沢は、角度によって赤や緑の縦縞模様が入る。美しい体色は、死骸になっても失われることはない。

## タニシ類(マルタニシ・ヒメタニシ)



※写真はマルタニシ

### ○マルタニシ

- ◆ 淡水性の巻貝。佃煮などにして食用される。
- ◆ 殻の高さは 60mm、殻の径は約44mm、殻の層は 6層。丸みを帯びた形状である。
- ◆ 水田、池沼、水路に生息する。底泥や水生植物に付着している微小生物を餌とする。
- ◆ 農薬等による水質汚濁や用水路のコンクリート化などで、近年生息数が減少している。

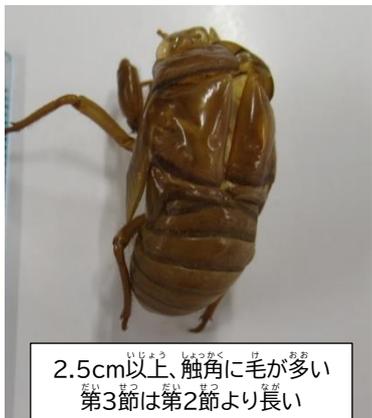
### ○ヒメタニシ

- ◆ 淡水性の巻貝。殻の高さは 35mm程度でマルタニシより小型。小川、水路、池沼に生息し、汚れた水にも強い。

しひょうしゅ み かた とくちよう  
**指標種の見つけ方・特徴**

ぬ から せいちゆう  
**セミの抜け殻・成虫**

アブラゼミ



2.5cm以上、触角に毛が多い  
 第3節は第2節より長い

ミンミンゼミ



2.5cm以上、触角に毛が多い  
 第3節は第2節より短いか同じ長さ

ヒグラシ



2.5cm以下、つやがある  
 触角の第4節が第3節より長い

ツクツクボウシ



2.5cm以下、つやがない  
 触角の第4節が第3節より短い

ニイニゼミ



どろがついている